



ミニデイサービスを開催

地域貢献活動の一環として、JA助け合い組織は10月29日にブナの森ふれあい伝承館でミニデイサービスを開催しました。女性部員の声かけのおかげで、富根地区から40名もの参加があり、全員で楽しい時間を過ごしました。

はじめに、JA助け合いグループたんぼぼ会の藤田ミヤ子会長が「日に日に寒くなり、外に出て体を動かす機会が少なくなってきていませんか？今日はみなさんで体を動かし、大いに楽しんで心も体も元気にしていきましょう」とあいさつしミニデイが始まりました。



タオル体操では、腕を上げたり、足を伸ばしたりと全身のストレッチで体をほぐした後、歌を交えた健康レクリエーションやおたまとピンポン玉を使ったピンポン玉リレーなどを行い、参加者たちは笑いも絶えず、楽しく心身をリフレッシュしてもらいました。



→ みんなで楽しんだピンポン玉リレー

参加者からは「なかなか体を動かす機会の無い中、こういう会を開いてもらいとても楽しかったです。たくさんの人とも話すことができたのも良かったです」と話してくれました。今回のミニデイサービスは、終始笑顔にあふれ、住民同士の交流をさらに深めることができました。

レクリエーション大会

JA女性部能代地区は11月25日、アリスで恒例のレクリエーション大会を開催し、会員同士の交流を深め合いました。

今年で9回目となるこのイベントには、能代支部の女性部員35名が参加しました。はじめに佐々木博子支部長が、「日に日に寒くなってきているので健康管理に気を付けてもらいたい。女性部員が少なくなってきているが、前を向いて声かけの活動を今後も続け、仲間を誘ってこれからの行事に参加してもらいたい。女性部が元気でなければJAも元気にはならない」と挨拶しました。はじめにレインボー体操で体をほぐした後5グループに分かれてレクリエーションが行われました。

トイレットペーパーを使ったファッションショーでは、どのグループも素敵な衣装ができみんなで楽しみました。会場が笑いに包まれたのは、背中に文字書きゲームで、簡単な2文字や3文字の単語ですが中々伝わらず、何回も背中に書く光景が見られました。その他にも、ボール渡しリレーや大豆摘みゲームなどのレクリエーションが行われ、女性部員たちの歓声と笑顔にあふれたイベントとなりました。



← 様々なレクで楽しんでもらいました

